



教育後援会報

京都府立農芸高等学校

第39号

令和4年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会 編集 同事務局

「農林水産業みらいプロジェクト」に挑戦しよう!

教育後援会名誉会長

藤田 洋嗣

ご卒業おめでとうございます。

農芸高校は、男子は寮生活・女子は遠距離通学、普通教科に加えての農業に関する専門教科の学習、放課後実習や休暇中の実習で、動植物を育てることへの不思議さや生命が連続するという命の大切さを学ばれたのではないのでしょうか。

このように頑張つて生きる力を蓄えてきた皆さんが、本日ここにご卒業されること、心からお祝い申し上げます。

さて、この生きる力を今後どう発揮すべきなのでしょう。今年は虎年です。「虎視眈々」(じつとチャンスを伺う!)という言葉があります。卒業後はすぐ社会に出る人、2年後、4年後社会に出る人などさまざまですが、将来、農芸高校で学んだことをどう生かすかを考えた人は、農林水産業みらい基金の「農林水産業みらいプロジェクト」に挑戦してみても如何でしょうか。これは、農・林・水産業に対し「創意工夫にあふれた取組みで、直面する課題の克服にチャレンジしている地域を対象」とし、あと一步の後押しをしてほしい地域を

公募しています。応募の結果承認されれば、必要経費の9割を基金から支給されます。この事業は過去10年間で、約50件認定されており、多い場合は3億円、少ない場合は600万円が支給されています。このプロジェクト、近くでは滋賀県守山市内の地域農業で取り組んでいますし、広島県世羅町では、広島県立世羅高校の農業科が作った梨で、農業科や陸上部員が成分調整した「ランニングウォーター」のジュースなどの取組みを含めた農業振興事業です。農業を主軸に生き方を考えた卒業生の皆さん、ぜひ挑戦してみてください。

さて、教育後援会は、入学した生徒の皆さんが在学中に能力を高める活動をする際に必要な支援をする組織で、部活動・農業クラブ活動・学校行事などを支援しています。さまざまな活動については、この会報をご覧ください。卒業生の保護者の皆様はこの主旨をご理解いただき引き続きご支援頂きたいと思えます。また、在校生の保護者の皆様には他高校にはない、この組織をご活用頂き、お子様が高校生活をより一層充実できるように激励してあげてください。

結びにあたり、卒業生の皆さんの前途を祝し、合わせて在校生の皆さんの校内外でのさまざまな分野での活躍を期待しています。

新しい農芸への挑戦を加速しよう・目指せ Next Stage!!

校長 長谷川 清隆

教育後援会の会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育の推進に温かいご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

令和3年度、農芸高校は来年度に学科改編の完成年度を控え、新しい農芸高校への挑戦、例えば、連携協定を締結している京都府立大学、京都先端科学大学との協働の学びをレベルアップさせたい、さらには、教職員、生徒達も、自分の未来への挑戦を、そして農業専門高校としてさらにワンランクアップしたい、そのような願いを込めて、「新しい農芸への挑戦を加速しよう・目指せNext Stage!!」を教育テーマに掲げ、教育活動に取り組んできたところです。しかし、ご存じのように昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大に係わり、今年度も京都府には二度の緊急事態宣言が出され、その期間前後においては本校も教育活動に制限を加え、感染防止対策と教育活動の両立に取組んできました。制限緩和後は、10月下旬に農業クラブ全国大会兵庫大会への参加、11月に体育祭、12月には2年生の修学旅行を実施することができました。

が、11月の「農芸祭」については昨年度に引き続き中止とさせていただきます、関係の皆様のご理解を得て、代替行事として保護者対象の「農芸マルシェ」を実施いたしました。

このような状況下ではありましたが、3年生の進路状況とともに、例年に劣らない多くの教育成果が見受けられました。詳しくは本会報の紙面をご一読ください。

さて、昭和58年4月に開校した本校は、来年度で創立40年をむかえます。去る7月

に創立40周年記念事業実行委員会を立ち上げ、記念事業の準備を進めているところでもあります。教育後援会員の皆様には、是非とも創立記念事業へのご協力、ご配慮いただきますよう、本会報をお借りしてお願い申し上げます。

今後とも、教育後援会員の皆様には、本校教育の推進に、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

農芸マルシェ(保護者向け学校公開)報告

昨年度は、開校以来途切れることなく続いてきた農芸祭を中止し、保護者のみを対象にした学校公開「農芸マルシェ」を実施しました。昨年度の卒業生からは「高校生活最後の農芸祭をやりたい」との声も聞かれ、今年は何とか農芸祭を実施したいとの思いで、1学期から準備に取りかかりました。ワクワクン接種も始まりましたが、感染者の波は高レベルを繰り返して、緊急事態宣言も出され、本年度についても第39回農芸祭は中止することとなりました。

そこで昨年度同様に、保護者のみを対象にした学校公開「農芸マルシェ」を行うことに切り替えたのですが、平成29年度から始めた農芸感謝祭(日頃の実験・実習の成果に感謝し、農場生産物を調理・会食する行事)に替わる取り組みができないかと農業クラブ本部役員の生徒たちが検討し、11月12日(金)に「農芸マルシェ前日祭」を実施しました。生徒たちによるコース紹介と所属するコースに関するクイズ大会を行い、最後はビンゴゲーム

を楽しみ、クイズやゲームの商品として各コースの生産物を持ち帰りました。農芸感謝祭から形は変わりましたが、日頃の実験・実習の成果や農場生産物に感謝をするという気持ちを育むことができました。

農芸マルシェ当日の11月20日(土)は好天にも恵まれ、「笑顔咲き誇る未来へ、伝えよう農業の楽しさ」未来へつなげ命のバトンを」のスローガンのもと、約600名の関係者を迎え、日頃の実験・実習の成果を披露することができました。さらに、本年度は本校へ進学を希望している中学生にもマルシェの様子を公開することができ、在校生から未来の農芸高校生へ農業の楽しさを伝え、農芸高校生のバトンをつなぐこともできました。

本来なら模擬店等で農芸祭を盛り上げていただいているPTA、船南同窓会、教育後援会の皆様には、受付や駐車場誘導でお世話になりました。来年度こそ、第40回農芸祭が実施できることを祈り、農芸マルシェの報告とさせていただきます。(農場部長 岸根 一宏)

TV放映されました!!

畜産系コースの取組など農芸高校の様子をTV番組に取り上げていただきました。毎日放送は「よんちゃんTV」(12/13)でアナウンサーの乳搾りとともに、白い黄身の「玄米タマゴ」が紹介され、関西テレビ「ちまたのジョーシキちゃん」(2/4)では、M1グランプリファイナリストのインディアンさんに学校のジョーシキを紹介してもらいました。番組MCの横山さん(関ジャニ∞)には子牛



の名付け親(チマタちゃん)にもなっていました。

技能五輪全国大会



今年度もプロの青年造園家と競い造園技能の日本一を目指し、第59回技能五輪全国大会に環境緑地科3年宮尾永君が出場しました。

今大会は12月17日〜20日に東京都で行われ、新型コロナウイルス感染症対策が徹底される中42職種1,028人が参加しました。

技能五輪の活動は専門部である造園部で取り組んでおり、今大会で18年連続の出場となりました。前回大会においては敢闘賞を受賞し、今大会も「高校生初の金賞」を目標に掲げ練習に取り組みました。

競技内容には、石積み、小舗石敷き、石貼り、木工、植栽などの要素があり、寸法の正確さと仕上がりの美しさが求められます。すべての要素をやり遂げ、延べ10時間を二日間で完成させる課題となります。

競技課題の発表後、図面を解読し問題点を見つけ、施工方法

令和3年度 農業クラブ活動報告

1. 京都府学校農業クラブ連盟大会(あうる京北) 7月23日 《プロジェクト発表》

分野	発表題	
I類	優秀	力強い酪農へ! ~可能性広がる牛乳の価値~
II類	優秀	桜守を目指して
III類	優秀	京都府産豆腐加工用ダイズの特産品化を目指して ~大豆100粒運動 for High Schoolプロジェクト~

《意見発表》

分野	発表題		発表者
II類	優秀	「もったいない」をなくすため、捨てる野菜からできること	橋本 泰地
III類	優秀	花の未来をつくる ~持続可能な庭から~	岡本 真由紀

III類・会場運営 平林 希美、小林 愛佳、大町 柊介、中川 和泉



【府連大会】



【府連大会の運営】

《平板測量競技会》〔農芸高校〕7月30日

Aチーム【優秀】清水 颯、曾川 夢陽、山崎 雄斗

《和牛審査競技会》〔碓高原牧場〕8月6日

【最優秀】池田 真央

【優秀】竹田 陸人、松島 実音、藤田 明都

2. 第72回 日本学校農業クラブ全国大会(兵庫県) 10月26~27日

農業鑑定競技会	農業	梨木 涼介【優秀】
	園芸	福田 風来【優秀】
	造園	宮尾 永【優秀】
	農業土木	布施 翔太【優秀】

クラブ員代表者会議運営 平林 希美、宗川さくら、向坂 康祐



【和牛審査競技会】



【平板測量競技会】



【第72回日本学校農業クラブ全国大会】



【クラブ員代表者会議運営】

3. ボランティア活動の記録



〔7月13日〕



〔12月31日〕



〔フラワーキャラバン 園部駅〕

生徒会・農業クラブ役員〔瓢箪栽培〕



〔播種〕



〔定植〕



〔贈呈〕

4. 各種資格試験に挑戦

- 危険物取扱者試験(乙種第4類)(丙種)
- 日本農業技術検定 3級
- 初級バイオ技術者認定試験
- 測量士補
- 3級室内園芸装飾技能士
- 日本語ワープロ検定試験・表計算・文章入力スピード検定
- 3級鉄筋施工技能士
- 2級造園技能士
- 3級造園技能士
- 2級造園施工管理技術検定 学科試験
- 2級土木施工管理技術検定 学科試験
- トレス技能検定 3級
- 刈払機取扱作業安全衛生教育 修了
- フォークリフト(1t未満)の運転の業務に係る特別教育 修了
- クレーン(5t未満)の運転の業務に係る特別教育 修了
- 小型車両系建設機械(整地等3t未満)運転の業務に係る特別教育 修了
- ボイラー取扱技能講習 修了
- ジュニア豆腐マイスター認定講座 修了

5. 今年度を振り返って

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講習会や競技会、ボランティアなど中止になることもありましたが、対策やタイミングを図りながら、教育活動を充実したものとなるように全教員で指導にあたってきました。多くのことを学び成長できる環境を今後も全力で整えていきたいと考えています。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

を検討し練習を行いました。
また、技能五輪以外の資格取得や農業クラブの全国大会の活動で大変忙しい中、練習に取り組んでくれました。
今大会で宮尾君は2年連続の出場となり、前回とは違い、一人で挑む大会となりました。造園職種は23名の高校生から大学生、職人で競技を行うこととなりました。
両日とも天候に恵まれ、良いコンディションの中、行われました。一日目の作業は順調に進み、練習時より、先に進むことができました。
二日目も同様に作業を行うことができ、標準時間終了3分前に全行程を完成することができました。
しかし、金賞を目標に取り組んだ大会でしたが、例年に比べ、他の競技者のレベルが高く、結果、入賞することができませんでした。
コロナ禍の中での練習で思うように時間が取れず、難しい大会であったと思います。その中で、最後までやり切ったことやこれまで2年間で取り組んだことは大変、評価されると思います。
また、この経験や技術を後輩へ伝えていってほしいと思います。さらに、次回大会では後輩たちが目標である「高校生初の金賞」に向けて頑張ってくれることを期待しています。この取り組みへのご支援、ご声援ありがとうございました。

(環境創造科 矢野 正樹)

部活動 および

農業クラブ 専門委員会

硬式野球部

本校野球部は夏に行われる選手権大会に向けて1勝を目標に日々厳しい練習に取り組んでいます。本年度は、目標達成まであと一歩のところまで負けてしまいました。敗れたものの、部員たちは次の目標に向けて歩みを止めることなく努力を続けており、成長を感じています。来年度は、単独チームとして出場し、「夏1勝」を達成することを、選手・顧問一同本気で目指しています。今後も、硬式野球部への御理解・御協力を宜しくお願い申し上げます。



陸上競技部

陸上競技部は、3年生3名、2年生3名、1年生1名の7名で活動を行いました。昨年に引き続き、今年もコロナ禍ということもあり、なかなかしつかりとした練習を行いつづら



平素より、サッカー部の活動に御理解、御協力を賜り、心より御礼申し上げます。今年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、選手権大会をはじめとする公式戦に、昨年度に引き続き単独チームとして出場することができました。しかしながら、3年生の引退に伴って部員数が減少し、例年1月から開催される新人大会への参加は見送ることとなりました。そのかわりに現在はフットサルに活動の幅を広げ、公式戦にも出場しております。さて、今年度、部員には多くの我慢を



サッカー部

況下でした。参加できた大会は、4月季大会と10月ジュニア大会で記録を残してきました。



強いてきました。来年度はその我慢が報われ、思いきりサッカーを楽しむことができる日々がくることを願い、また、たくさんの方々が入学が入学してくることを願い、報告を締めたいと思います。

パワーリフティング部

パワーリフティング部は現在3年生と1年生で活動しています。今年度も新型コロナウイルスの影響で、多くの大会への出場が叶いませんでした。そんな中、3年生の2名が、昨年6月13日に兵庫県で行われた、第26回ジャパンプラシックスサブジュニア・ジュニアパワーリフティング選手権大会に出場し、それぞれの階級で1位、2位という優秀な成績を収めました。1年生は、入部後初となる大会、3月27日に埼玉県開催予定の、「第19回全日本選抜高校パワーリフティング選手権大会」への出場を目指して練習に励んでいます。パワーリフティング部はこれからも「心優しき力持ち」として、ただの力持ちではなく、人としての成長を目指します。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



男子バスケットボール部

今年度は、3年生1名、2年生4名、1年生1名、合計6名で活動しました。公式戦一勝には程遠い結果となりましたが、人数の少ない中、助っ人を募り5月に行

われた高校総体予選、9月に行われた選手権大会予選になんとか出場することができました。12月に行われた新人戦予選では、学校行事と重なってしまい出場することができませんでしたが、限られた時間の中で練習に励んでいます。来年度こそは部員を増やし、校外での練習試合を多く行うなど、バスケットボールの技術と人間性の向上に努めていきたいと考えています。農芸高校を盛り上げていけるような部活動を目指します。今後とも御支援の程宜しくお願い申し上げます。



バドミントン部



今年度、3年生6名、2年生7名、1年生7名の計20名で活動してきました。例年に比べて多くの部員が揃っており、活気のある部活動となっています。日々の練習では上級生が部活を引っ張ってくれ、しっかりと活動しており、技術の向上に努めています。大きな大会では思うような結果を残せていませんが、来年度はさらなる飛躍につながるよう、部員が日々、技を競いながら活動しています。今後ともバドミントン部の活動にご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

硬式テニス部



硬式テニス部は、3年生1名、2年生1名、1年生2名の計4名(男子)で活動していますが、5月15日(土)に向島テニスコートで行われたインターハイ予選(男子団体戦)では、京都廣学館高校に2-1で勝利し、昨年度に引き続き初戦突破を果たしました。また、7月22日(木)に行われた京都サマージュニア選手権大会(男子個人戦)、10月9日(土)に行われた京都府選手権府内予選(男子個人戦)では、共に2年生の羽田君がブロック決勝(4回戦)まで進出するなど、目覚ましい活躍をしてくれています。テニス部では、さらなる飛躍を目指して引き続き精進していきたいと思えます。今後とも温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

卓球部

今年度の卓球部は2年生が2名所属しており、基本技術の習得を目指し練習しています。活動日は月曜日から木曜日までで、部活動だけでなく学習活動にも力を入れ、学業との両立を目指しています。今後とも応援よろしくお願いします。



剣道部

剣道部では、日々部員たちが稽古に取り組んでいます。今年度は団体・個人ともに公式戦への出場をすることができました。また、試合だけでなく段位取得にも積極的に取り組んでいます。今年度は1名の部員が初段を取得しました。また、3月には高校から剣道を始めた部員が初段の審査を受ける予定です。来年度には、三段の審査を受ける予定の生徒もいます。

例年、本校で他校の剣道部も来ていただき夏季合宿を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年中止となりました。現在は、他校の剣道部と交流する機会が少ない状況ではありますが、感染拡大の状況を見ながら他校への出稽古や練習試合に行き、実力をつけていきたいと考えています。

部員たちは、大会・昇段に向けて日々頑張っていますので、今後とも応援をよろしくお願いします。



合唱部

合唱部の部員は現在3年生2名と2年生1名の計3名で、全員男子です。本校には指導者がなく、10年以上亀岡高校の合唱部と合同で活動しています。両校の部員はとも仲がよく気持ちよく活動しています。新型コロナウイルス感染症の流行など度々活動ができなくなったこともあり、常に目標を持ち自主練習をしながら乗り越えてきました。

今は3月25日に予定しています。定期演奏会に向けてひたすら練習に取り組んでいます。一日も早く皆様に素晴らしい歌声をお届けできる日が来ることを祈って頑張りますので、今後とも応援よろしくをお願いいたします。



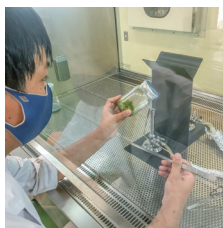
茶道部

現在3年生1名、2年生3名、1年生1名の計5名で、裏千家・西岡正代先生の御指導のもと、毎週水曜日の放課後に活動しています。お茶の作法とおもてなしの心を学ぶため、集中して稽古に取り組み、今後とも温かい御支援をお願い申し上げます。



植物バイオ部

2年生2名が所属し、無菌操作による植物の増殖や、野外の動植物の調査を行っています。今年度は、大豆の育種として、早熟となる黒丹波の選抜を行いました。次年度に向けて、育種していきたいと思えます。また、南丹市からサクラの培養を依頼され、現在は成長点培養から不定根が見られましたがシュート形成は誘導できませんでした。再度、挑戦し苗の供給をしたいと考え、活動していきます。



草花部

草花部では多肉植物の栽培を中心に、授業では学べない様々な植物を栽培するとともに、その活用方法について広く学んでいます。今年度は3年生3名、1年生5名で活動を続け、新たに校内の植物をドライフラワーに加工し専用のオイルに保存する「ハーバリウム」に挑戦しました。作成に試行錯誤を重ね、校内での販売やPTAの研修会を実施することができました。

また、夏期休業中には京都府立植物園に研修に行くなど、幅広い知識と経験を得る機会を設けることができました。外部との交流が少ない一年となりましたが、ご支援いただいたことで草花への興味関心をさらに深める活動ができたと感じています。今後ともよろしくお願いいたします。



畜産部

今年度の畜産部は、男子3名、女子6名が、「365日欠かさず」との飼養管理」をテーマに活動していきま

した。昨年度に引き続き、共進会などの大会は行われず、3年生は1度も共進会を経験することなく卒業することとなった。生徒からも「共進会に出場できず残念。出場してもっと多くの経験を積みたかったです。」との参加できなかつたことを悔やむ声もありました。

一方で、冬に行われた牛群審査では、2年動物資源コースの生徒とともに学校に宿泊して、深夜に乳房調整や除糞などを行い、2頭がExcellent牛に選出されました。

今年度から畜産部ではインスタグラムを開設し、毎週畜産部の日々の活動と飼養している家畜たちを紹介しています。フォロワー数は現在約270で、今後も多くの方にフォローして頂き、畜産部の活動を積極的に広報していきます。

今後も多くの方で活躍できるように精一杯取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



野菜部

野菜部では、「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。中でも、バジル栽培に力を入れており、苗として校内販売を行ってきました。

また、六次産業化を意識した取り組みとして食品製造に取り組んでいます。亀岡市にある京懐石「雅」の西田浩二様の御協力のもと、バジルの製造をしていただいています。このバジルの製造は、野菜部の先輩と西田さんが共同開発され、後輩へと引き継がれています。来年度も栽培・製造しますので、是非ご賞味ください。すごくおいしいと人気商品となっています。来年度の野菜部も、部員が楽しんで野菜栽培に取り組める環境を整え、六次産業化にも力を入れていきたいと考えていますので、引き続き御支援の程よろしくお願いたします。



造園部

造園部では、造園技能検定の取得を目標とし、校内に植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、庭園施設の改修、補修、校内美化活動等を通じて日々、技術習得に取り組んでいます。



ます。

本年度も例年に準じての管理作業をするなか、新たな行動様式、そして感染拡大防止の対策をとりつつ活動を行いました。その感染拡大の波の上がり、下がりの余波を受けては、活動制限をされること、活動時間の短縮、今までの取組み内容がどこまでやりきれぬのかが全くわかりませんでした。

目標をできること、できる範囲に絞り、樹木の剪定を中心に、校内の環境整備に従事しました。また、地域のボランティア活動にも引き続き携わることができ、近隣寺院の庭園管理や作庭した庭園の手入れも完了することができました。日数を集中させることで、1年生から3年生までの剪定技術の向上やこれまで教わった剪定方法を先輩に技術伝達する機会にもなりました。さらに先輩、後輩の繋がりをつくるきっかけにもなり、人の剪定作業を観て学ぼうとする姿勢や剪定の方法を選択する力、さらには作業上の安全性を見極め、危険を回避する力を育むことができました。

技能五輪全国大会においては、京都府代表選手として造園部から連続で出場しました。本年度は選手一人の単独競技の大会であり、自ら鍛え上げた技術を発揮する、挑戦する大会に望みました。今までの積み重ねてきた技術をすべて出し切り、標準時間もクリアして完成、選手の持つる力を全て出し切った全国大会となりました。ご声援ありがとうございました。

環境部

環境部では今年度も農業クラブ平板測量競技会に向けての活動、校内環境の整備や専門的な資格取得に取



り組みました。

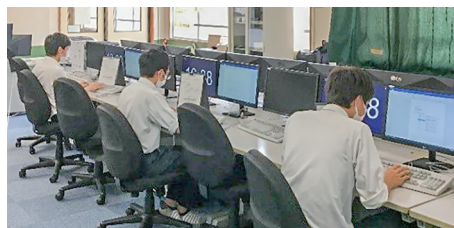
7月30日に平板測量競技会の京都府大会が農芸高校で実施され、本校からは2チーム出場し、大会まで練習・研究を重ねた結果、3年生チームは優秀賞を獲得することができました。2年生チームは今年度の悔しさをバネに今後練習を重ね、来年度に良い結果を収めてほしいと思います。今年度はブリッジコンテストへの橋梁模型出品はコロナ禍の影響により見送ることとなりました。

資格取得については、2級・3級鉄筋技能検定の合格を目指し、コッコツと練習に取り組みました。競技会、校内環境整備や資格取得の取り組みを通し、この1年で専門性を高めることができました。

情報処理部

今年度の情報処理部は、1年生9名の新入部員が加わり、2年生4名、3年生8名を合わせ21名で活動してきました。3年生が新入生オリエンテーションで部の紹介やパソコンを使うことのメリットを説明し、多くの1年生が入部してくれました。

ワープロや表計算のスキルアップや検定試験に向けた練習やオープンスクールで中学生に丁寧に部の紹介を行いました。また、農業情報処理競技会にも参加し、情報処理のスキルを発揮しました。そして、今年度より開始した南丹広域振興局と連携したインスタグラム（アカウント名「農芸太郎」）による本校や京都丹波の魅力発信も行っています。



教育後援会 事業及び会計報告

令和2年度 教育後援会 事業報告

月	日	事業名	内容
4	9	第38回入学式 役員会	H31事業報告・決算、R2役員・事業計画・予算について
5	9	代議員会	H31事業報告・決算、R2役員・事業計画・予算の審議と承認について
6	上旬	生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
	下旬	第1回研修事業	【中止】
9	下旬	役員会	【中止】
9	下旬	四者会議	【中止】
11	上旬	海外農業研修説明会	【中止】
11	21	第37回農芸祭 農芸マルシェ	【中止】 運営協力
11	下旬	終身会費納入依頼	11・12月分で徴収
12	23~26	海外農業研修助成	【中止】
2	27	役員会、選考会議	次年度役員案の作成・推挙について
3	1	第36回卒業式 教育後援会報発行	会報第38号発行
3	下旬	第2回研修事業	【中止】
4	9	第39回入学式	教育後援会について（案内）

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が変更または中止となりました。

収入総額 1,050,152円－支出総額 717,197円 = 差引残額 332,955円（次年度へ繰越）

令和2年度 会計決算

収入の部

単位（円）

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	34,959	34,959	0	前年度繰越額
会費	783,000	783,500	500	生徒通常 211名 105,500円 職員終身 8名 24,000円 職員通常 51名 25,500円 保護者終身 61名 183,000円 生徒終身 89名 445,000円 過年度分生徒 1名 500円
寄附金	100,000	179,000	79,000	37件
事業収入	300,000	51,000	-249,000	椎茸原本売上
雑収入	41	1,693	1,652	通常貯金利子2円・平成22年度特別積立金満期による利子1,691円
合計	1,218,000	1,050,152	-167,848	

支出の部

単位（円）

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	35,000	24,161	-10,839	封書・葉書郵送料
会議費	10,000	3,550	-6,450	会議用昼食等
渉外費	10,000	10,000	0	会長渉外費
旅費	10,000	10,000	0	役員旅費
事業費	570,000	475,645	-94,355	会報発行 研修事業
生徒福祉費	500,000	137,350	-362,650	生徒募集対策費
慶弔費	21,000	0	-21,000	弔電 祝電
振込手数料	2,000	6,491	4,491	寄附金振込手数料
特別積立金	50,000	50,000	0	
予備費	10,000	0	-10,000	
合計	1,218,000	717,197	-500,803	

令和2年度 特別積立金報告

科目	繰越額(a)	本年度積立額(b)	利子(c)	※満期利子(d)	積立金合計(a)+(b)+(c)+(d)	備考
特別積立金	1,154,177	50,000	350	2,121	1,202,406	※平成22年度積立金満期振替により、1,691円（満期利子2,121円－税額430円）を一般会計に雑収入として収入

単位（円）

令和3年度 教育後援会 事業計画

月	日	事業名	内容
4	9	第39回入学式	教育後援会について（案内）
5	9	代議員会	R2事業報告・決算、R3役員・事業計画・予算の審議と承認について
6	上旬	生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
	下旬	研修事業	【中止】
9	下旬	役員会	【中止】 農芸祭について 他
10	9	四者会議	農芸マルシェについて 他
11	上旬	海外農業研修説明会	【中止】
11	20	第38回農芸祭 農芸マルシェ	【中止】 運営協力
11	下旬	終身会費納入依頼	11・12月分で徴収
12	下旬	海外農業研修助成	京都府農業学科高校生海外農業研修（台湾）【中止】
3	1	第37回卒業式 選考会議	役員出席・会報第38号発行・次年度役員案の作成・推挙について
3	下旬	教育後援会報発行	第39号発行
4	11	第2回研修事業 第40回入学式	【中止】 （役員出席）

令和3年度 会計予算

収入の部

単位（円）

科目	本年度予算額(a)	前年度予算額(b)	増減(a)-(b)	備考
繰越金	332,955	34,959	297,996	前年度繰越額
会費	601,000	783,000	-182,000	生徒通常 191名 95,500円 職員通常 53名 26,500円 保護者終身 58名 174,000円 生徒終身 61名 305,000円
寄附金	100,000	100,000	0	
事業収入	300,000	300,000	0	農芸祭売上・椎茸はだ木販売
雑収入	45	41	4	利子
合計	1,334,000	1,218,000	116,000	

支出の部

単位（円）

科目	本年度予算額(a)	前年度予算額(b)	増減(a)-(b)	備考
事務費	35,000	35,000	0	封書・葉書郵送料
会議費	10,000	10,000	0	会議用茶菓子
渉外費	10,000	10,000	0	渉外費
旅費	10,000	10,000	0	役員旅費
事業費	580,000	570,000	10,000	生徒校外活動補助（農業クラブ・部活動等）農芸祭 椎茸原本・菌購入 会報発行 研修事業
生徒福祉費	600,000	500,000	100,000	生徒募集対策費（ポスター作成・横断幕製作等）
慶弔費	24,000	21,000	3,000	香資料 弔電 祝電
振込手数料	5,000	2,000	3,000	寄附金振込手数料
特別積立金	50,000	50,000	0	
予備費	10,000	10,000	0	
合計	1,334,000	1,218,000	116,000	

令和3年度 特別積立金会計予算

単位（円）

科目	繰越額	本年度積立額	積立金合計	備考
特別積立金	1,202,406	50,000	1,252,406	

令和3年度 3年生進路決定状況

令和4年2月2日現在

I. 進路状況

学 科	就 職	進 学	未 定	合 計
農産バイオ科	16	28	1	45
(男子)	9	21	0	30
(女子)	7	7	1	15
環境緑地科	6	5	1	12
(男子)	6	5	1	12
(女子)	0	0	0	0
合 計	22	33	2	57

II. 就職内定状況

内定者実数 *下記企業名は順不同

学 科	農・建設・造園	製 造	運輸・通信	卸・小売	サービス	福 祉	公務員 他	合 計
農産バイオ科	1	8	0	3	4	0	0	16
環境緑地科	2	1	2	0	0	0	1	6
合 計	3	9	2	3	4	0	1	22

- 【農・建設・造園】 瑞穂農林株式会社
- 【製 造】 山崎製パン株式会社、株式会社湖池屋、石井食品株式会社、ユニチカ株式会社宇治事業所、京都エレクトロン株式会社《2名》、大成化工株式会社、能勢大成化工株式会社、広田工業株式会社、株式会社京都テクニカ
- 【運輸・通信】 日本郵便株式会社近畿支社、株式会社五健堂
- 【卸・小 売】 京都食肉市場株式会社、株式会社コメリ、京都ダイハツ販売株式会社
- 【サ ー ビ ス】 株式会社ワークステーション、株式会社エムアンドケイ、株式会社フード物語
- 【公務員 他】 京都府職員（土木）、宇治市役所（土木）

III. 進学合格状況

延べ人数 *下記学校名は順不同

学 科	国公立大学	私立大学	短期大学	農業大学校	専修各種学校	合計
農産バイオ科	0	16	1	0	11	28
環境緑地科	1	1	0	0	3	5
合 計	1	17	1	0	14	33

- 【公立大学】 京都府立大学（生命環境学部）
- 【私立大学】 龍谷大学（農学部《2名》）、京都先端科学大学（バイオ環境学部《3名》）（経済経営学部《1名》）、摂南大学（農学部《2名》）、酪農学園大学（農食環境学群）、大阪商業大学（総合経営学部）、花園大学（文学部《3名》）、中部大学（応用生物学部）、京都光華女子大学（こども教育学部）、神戸芸術工科大学（芸術工学部）、長浜バイオ大学（バイオサイエンス学部）
- 【短期大学】 池坊短期大学
- 【専修各種学校】 京都動物専門学校《2名》、大和学園京都栄養医療専門学校、大和学園京都調理師専門学校、京都理容美容専門学校、京都医健専門学校、京都医療福祉専門学校、日産京都自動車専門学校、京都保育福祉専門学校、京都芸術デザイン専門学校、YIC京都バット総合専門学校、タキイ研究農場付属園芸専門学校、修成建設専門学校、神戸動植物環境専門学校

求人のお願

近年、高校生の就職に関しては「売り手市場」の状況が続き、本校の求人状況も順調に推移しています。しかし、農芸で学んだことを活かして働くことのできる企業・事業所ばかりだとは限りません。望ましい求人情報がありましたら、進路指導部まで御提供ください。

農芸高校 TEL：0771（65）0013

ホームページの活用と 会報誌の送付について

農芸高校ホームページをリニューアルしました。今後、教育後援会のコーナーに活動内容を掲載します（現在準備中）。逐次更新をしておりますので、ご覧ください。なお、会報誌の送付は、卒業後10年までとさせていただきます。御了承いただきますようお願い申し上げます。

会費及び寄附金についてのお願い

本会は、在校生・在職教職員の会費と、卒業生・卒業生保護者の会費、一般会員の寄附金（1口1,000円）で運営されています。出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、御理解の上、御支援、御協力いただきますようお願い申し上げます。

■一般会員寄附金 1口 1,000円 ■在校生・在職教職員会費 年 500円

■卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円（卒業時に納入）

※ 京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号（京都 01080-1-9234）

なお本会への寄附とは別に、下記のような農芸高校に対する寄附事業もあります。

「京都府母校応援ふるさと事業」：「ふるさと納税制度」を活用した事業で、各校が支援を必要とする事業を掲げ、寄附を募っています。寄附額に応じて所得税・住民税が控除されます。